

従来お示していた進め方

- 第1回から2回にかけては、2050年を見据え、上下水道政策の目指すべき方向性を現状の課題を踏まえ幅広く議論。
- 論点のキーワードである、「持続」、「強靱化」、「水質・水循環」、「気候変動」、「社会経済活動」の議論に示唆をいただけるゲストスピーカーを第3回から第5回に招聘し、議論を深める予定としていた。

状況の変化

- 令和7年1月28日に埼玉県八潮市にて下水道管の破損が起因とみられる道路陥没事故が発生。
- ほかに、水道管、下水道管の老朽化が起因の道路陥没事故が多数発生し、国民全体が上下水道の老朽化、あるいは持続的な事業運営に不安を覚えている状況。
- 国土交通省においては、令和7年2月21日に「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策委員会」を設置し、施設管理のあり方等について議論を行うこととしている。

今後の進め方

- 今回の事故をふまえ、持続的な上下水道の運営に対する国民の不安を取り除く必要。
- このため、本検討会では、老朽化対策等を進めるために必要な経営基盤の強化について先行的に議論いただくこととしたい。
- 予定していたゲストスピーカーの招聘は一旦とりやめ、議論の対象も「持続」を中心に経営基盤の強化に関連する論点について議論いただき、中間とりまとめを行うこととしたい。
- なお、中間とりまとめ以降には、上記以外にも議論の対象を広げ、最終とりまとめを行うこととしたい。

第4回：令和7年5月20日（火）「広域連携」を中心に基盤強化に関する議論のほか、中間とりまとめ骨子を提示

第5回：令和7年6月10日（火） 中間とりまとめ（案）